

平成 29 年度 決算と
平成 30 年度 上半期

有田川町の 財政事情

平成 29 年度 各会計の決算状況

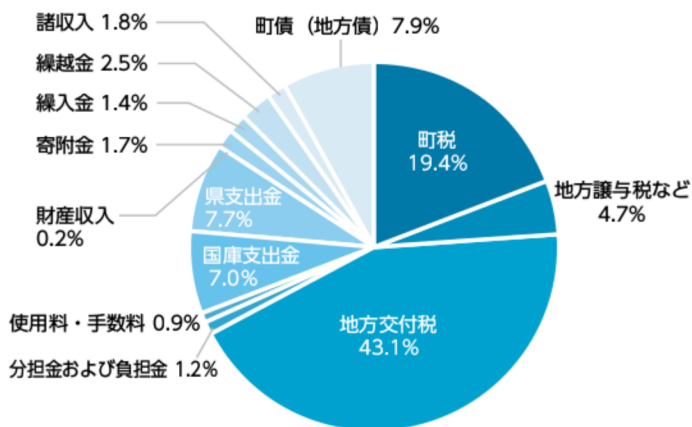
(単位：円)

会計区分	収入済額 ①	支出済額 ②	差引 ③ = ①-②	翌年度へ 繰り越すべき 財源 ④	実質収支額 ③-④	平成 29 年度末 地方債残高
一般会計	154 億 7,304 万	150 億 7,395 万	3 億 9,909 万	4,776 万	3 億 5,133 万	210 億 8,150 万
国民健康保険事業	42 億 7,893 万	42 億 741 万	7,151 万	0	7,151 万	0
介護保険事業	31 億 1,100 万	30 億 6,041 万	5,058 万	0	5,058 万	0
後期高齢者医療	7 億 4,711 万	7 億 3,909 万	802 万	0	802 万	0
簡易水道事業	7 億 1,870 万	7 億 1,551 万	319 万	279 万	40 万	27 億 4,478 万
農業集落排水事業	2 億 8,374 万	2 億 8,304 万	70 万	70 万	0	14 億 7,499 万
特別会計 簡易排水事業	168 万	168 万	0	0	0	510 万
浄化槽事業	857 万	857 万	0	0	0	3,101 万
かなや明恵峡温泉	6,855 万	6,855 万	0	0	0	0
特別養護老人ホーム等事業	218 万	218 万	0	0	0	0
公共下水道事業	17 億 8,674 万	17 億 8,674 万	0	0	0	84 億 6,760 万
岩倉財産区管理会	0	0	0	0	0	0
粟生財産区管理会	32 万	0	32 万	0	32 万	0
城山山林財産区管理会	192 万	0	192 万	0	192 万	0
八幡山林財産区管理会	88 万	71 万	17 万	0	17 万	0
安諦山林財産区管理会	11 万	0	11 万	0	11 万	0
合計	264 億 8,345 万	259 億 4,783 万	5 億 3,562 万	5,125 万	4 億 8,437 万	338 億 497 万

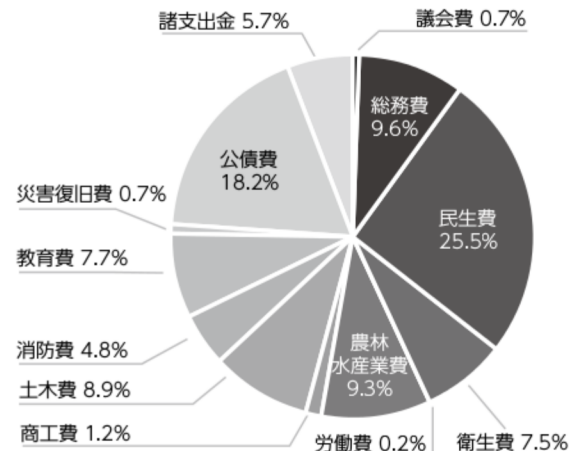
※端数処理のため、各項目の差引額の数値が一致しない場合があります (以降の表についても同じ)。

平成 29 年度 一般会計の決算状況

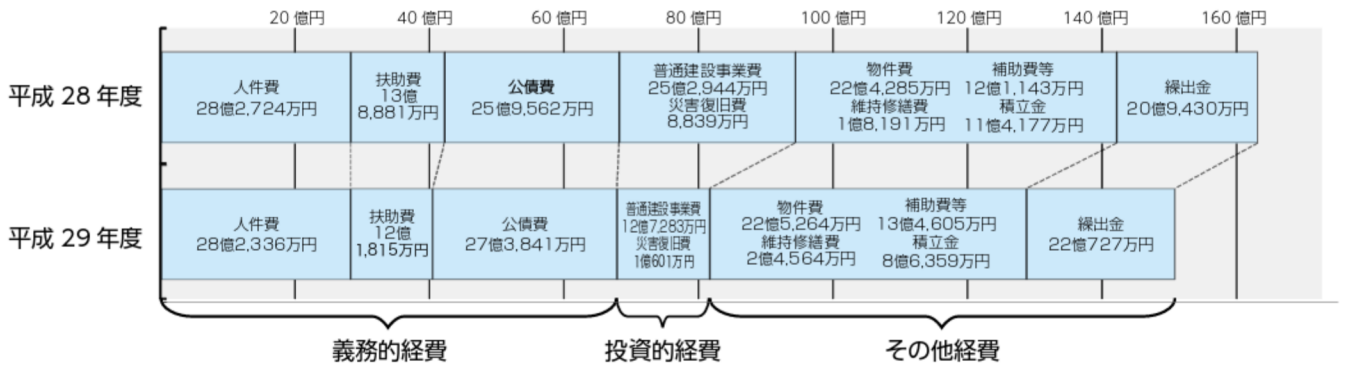
収入 154 億 7,304 万円



支出 150 億 7,395 万円



平成 29 年度 一般会計（歳出） 性質別決算額



平成 29 年度決算の概要

平成 29 年度の決算の概況および平成 30 年度の 9 月 30 日現在の予算額の執行状況について公表します。この財政事情は町民の皆さまに町財政の状況をお知らせし、その実態についてご理解をいただくためのものです。

歳入

昨年度と比べて12億2,028万円の減額となりました。項目別で増額・減額となった主なものは次のとおりです。

- 増額
 - ・ 町税
 - ・ 個人町民税および固定資産税の増
 - ・ 寄附金
 - ・ ふるさと応援寄附金の増
- 減額
 - ・ 県支出金
 - ・ 強い農業づくり交付金事業補助金の減
 - ・ 地方交付税
 - ・ 普通交付税の減（合併算定代替特例措置の段階的縮減によるもの）

歳出

昨年度と比べて12億2,781万円の減額となりました。項目別で増額・減額となった主なものは次のとおりです。

- 増額
 - ・ 補助費など
 - ・ ふるさと応援事業および生活バス運行支援事業の増
 - ・ 繰出金
 - ・ 公共下水道事業特別会計など各特別会計への繰出金の増
- 減額
 - ・ 扶助費
 - ・ 臨時福祉給付金給付事業の減
 - ・ 普通建設事業費
 - ・ 強い農業づくり交付金事業の完了による減
 - ・ 金屋文化保健センター大規模改修事業の完了による減

一般会計決算額を 町民 1 人あたりに換算すると…

1 人あたりの町税負担額は
11 万 1,695 円（前年比 2.3%増）

1 人あたりの町債残高は
78 万 6,506 円（前年比 5.1%減）

※人口（平成 30 年 3 月末現在） 2 万 6,804 人

用語解説

一般会計・特別会計／さまざまな事業に対応するため、収支が複雑化しないように財布を分けています。一般会計は行政運営の基本的な経費を網羅して計上した会計であり、特別会計以外の全ての経費は一般会計で処理しています。一方、特別会計とは、一般会計に対し、特定の歳入歳出を一般の歳入歳出と区別して処理するための会計です。

実質収支額／形式収支（各会計年度における歳入総額から歳出総額を単純に差し引いた額）から、翌年度への繰り越すべき財源を差し引いた額。

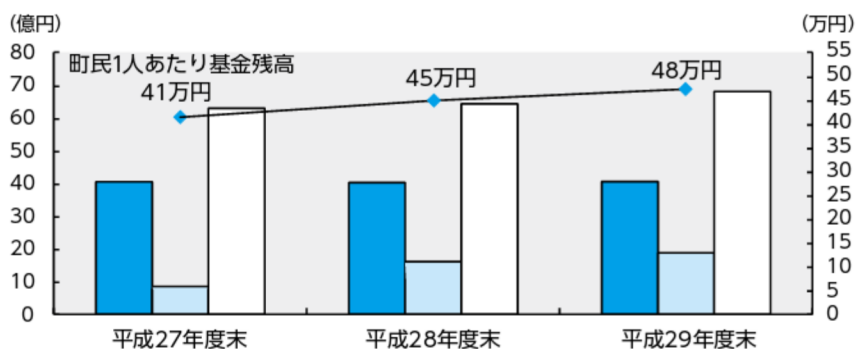
町債／特定の歳出に充てるため、町が年度を超えて元利を償還する借入金のこと。

平成 29 年度 公営企業会計の決算状況

(単位：円) ※税込み

	収入済額	支出済額	差し引き	平成 29 年度末地方債残高
1. 水道事業合計 (収益的)	4 億 9,600 万	3 億 6,183 万	1 億 3,417 万	6 億 856 万
2. 水道事業合計 (資本的)	2 億 4,961 万	4 億 1,508 万	▲ 1 億 6,547 万	

基金残高の状況

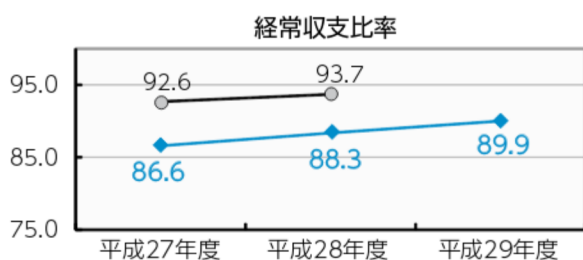


基金種別	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
財政調整基金	40 億 6,626 万円	40 億 7,487 万円	40 億 8,220 万円
減債基金	8 億 6,170 万円	16 億 4,324 万円	18 億 4,647 万円
其他目的基金	63 億 4,385 万円	64 億 6,492 万円	68 億 5,733 万円
合計	112 億 7,181 万円	121 億 8,303 万円	127 億 8,600 万円

平成 29 年度は減債基金へ約 2 億 300 万円、合併地域振興基金へ約 8,300 万円、ふるさと応援基金へ約 3 億円の積み立てを行いました。

また、目的別基金から取り崩したものとしては、合併地域振興事業へ 9,220 万円、ふるさと応援事業へ 7,850 万円、雇用創出事業へ 2,860 万円が主なものです。

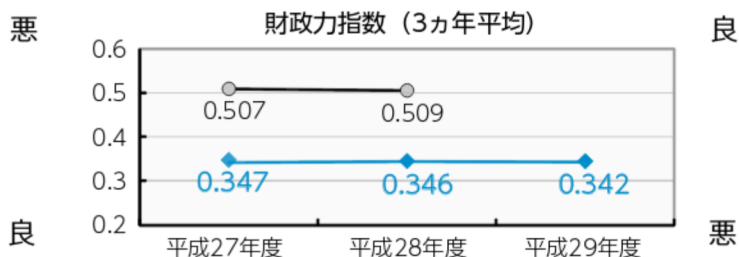
主な財政指標



当比率は、人件費・扶助費・公債費などの経常的な経費に充当された一般財源の額が、地方税や普通交付税などの一般財源の合計に占める割合を表し、比率が低いほど財政構造に余裕があり、通常市町村では 75% 以下が望ましいといわれています。

平成 29 年度の比率については 1.6 ポイント増加しました。

◆ 有田川町 ● 県下市町村平均



地方交付税にどれだけ頼らずに財政運営をしているかを表し、指数が 1.0 に近いほど財源に余裕があると言えます。

平成 29 年度の指数は 0.342 となっており、標準的な行政を行なうに当たって、約 65% の財源を国からの交付税などで賄っているということになります。

※各指標に係る平成 29 年度の県下市町村平均値は公表されていません。

用語解説

水道事業／上水道事業は「企業会計」です。収益的収支とは、水道料金を主な財源とし、施設の維持管理や借入金利息返済などを行います。資本的収支とは、借入金などを主な財源とし、施設の建設や借入金元金返済などを行います。

基金／特定の目的のために、維持あるいは積み立てられる資金または財

産。財政調整基金は、地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するために設けられる基金のことで、減債基金は、地方債の償還（返済）を年度を越えて計画的に行うために設けられる基金のことで。

一時借入金／一時的な現金の不足を補うために借り入れる資金。

一般会計予算の執行状況

歳入科目	予算額 (円)	収入済額 (円)	執行率(%)
1 町税	28億4,346万	20億4,298万	71.8
2 地方譲与税	1億5,000万	4,082万	27.2
3 利子割交付金	670万	357万	53.3
4 配当割交付金	1,300万	473万	36.4
5 株式譲渡所得割交付金	500万	0	0.0
6 地方消費税交付金	4億3,000万	2億6,249万	61.0
7 ゴルフ場利用税交付金	2,800万	1,236万	44.1
8 自動車取得税交付金	3,000万	1,407万	46.9
9 地方特例交付金	1,818万	1,818万	100.0
10 地方交付税	63億511万	43億2,038万	68.5
11 交通安全対策特別交付金	250万	138万	55.2
12 分担金及び負担金	1億7,722万	7,507万	42.4
13 使用料及び手数料	1億2,888万	4,820万	37.4
14 国庫支出金	11億5,021万	2億9,168万	25.4
15 県支出金	13億7,259万	1億914万	8.0
16 財産収入	3,848万	3,065万	79.7
17 寄附金	2億2,160万	6,492万	29.3
18 繰入金	10億5,407万	0	0.0
19 繰越金	3億6,286万	3億9,909万	110.0
20 諸収入	3億3,332万	1億4,309万	42.9
21 町債	14億3,180万	0	0.0
合計	161億298万	78億8,281万	49.0

歳出科目	予算額 (円)	支出済額 (円)	執行率(%)
1 議会費	1億928万	5,777万	52.9
2 総務費	16億283万	7億1,846万	44.8
3 民生費	40億2,699万	11億3,859万	28.3
4 衛生費	12億4,023万	3億8,403万	31.0
5 労働費	3,180万	1,054万	33.1
6 農林水産業費	14億8,457万	2億9,424万	19.8
7 商工費	2億2,349万	9,584万	42.9
8 土木費	13億2,296万	1億6,696万	12.6
9 消防費	9億6,135万	3億4,205万	35.6
10 教育費	12億1,785万	4億8,168万	39.6
11 災害復旧費	7億6,924万	6,580万	8.6
12 公債費	26億7,641万	8億3,088万	31.0
13 諸支出金	4億550万	2,354万	5.8
14 予備費	3,049万	0	0.0
合計	161億298万	46億1,036万	28.6

特別会計予算の執行状況

会計区分	予算額 (円)	収入・支出済額 (円)	執行率(%)
国民健康保険事業	37億2,425万	収入済額 18億6,922万 支出済額 15億3,947万	50.2 41.3
後期高齢者医療	7億1,677万	収入済額 1億277万 支出済額 2億5,652万	14.3 35.8
介護保険事業	32億7,901万	収入済額 12億9,859万 支出済額 12億9,290万	39.6 39.4
簡易水道事業	6億5,553万	収入済額 8,258万 支出済額 2億4,247万	12.6 37.0
農業集落排水事業	3億58万	収入済額 2,403万 支出済額 1億2,818万	8.0 42.6
簡易排水事業	204万	収入済額 36万 支出済額 113万	17.7 55.3
浄化槽事業	855万	収入済額 187万 支出済額 252万	21.9 29.5
かなや明恵峡温泉	7141万	収入済額 2,835万 支出済額 4,020万	39.7 56.3
特別養護老人ホーム等事業	425万	収入済額 16万 支出済額 16万	3.6 3.6
公共下水道事業	21億3,187万	収入済額 1億1,003万 支出済額 6億1,001万	5.2 28.6
岩倉財産区管理会	6万	収入済額 4万 支出済額 4万	69.6 69.6
粟生財産区管理会	32万	収入済額 32万 支出済額 2万	100.3 5.7
城山山林財産区管理会	192万	収入済額 192万 支出済額 4万	100.1 2.2
八幡山林財産区管理会	88万	収入済額 17万 支出済額 3万	19.4 3.7
安諦山林財産区管理会	11万	収入済額 11万 支出済額 3万	100.0 26.5
合計	108億9,754万	収入済額 35億2,050万 支出済額 41億1,370万	32.3 37.7

公営企業会計予算の執行状況

	歳入			歳出		
	予算額 (円)	収入済額 (円)	執行率 (%)	予算額 (円)	支出済額 (円)	執行率 (%)
水道事業会計 (収益的)	4億9,159万	2億446万	41.6	4億2,330万	7,688万	18.2
水道事業会計 (資本的)	2億9,706万	57万	0.2	4億4,335万	2,673万	6.0

町債および一時借入金の状況

会計区分	現在高 (円)
一般会計	196億8,393万
簡易水道事業特別会計	25億9,073万
農業集落排水事業特別会計	14億1,423万
簡易排水事業特別会計	484万
浄化槽事業特別会計	2,924万
公共下水道事業特別会計	79億5,326万
水道事業会計	5億8,440万
合計	322億6,063万
一時借入金 (一般会計および特別会計)	0

基金の状況

区 分	現在高 (円)
財政調整基金	41億233万
減債基金	18億4,647万
その他特定目的基金	68億6,014万
合計	128億894万

一般会計決算額を 町民1人あたりに換算すると…

1人当たりの町税負担額は **10万6,544円**
 1人あたりに使われるお金 (繰越含む) **60万3,379円**
 1人当たりの町債残高は **73万7,557円**

※人口 (平成30年9月末現在) 2万6,688人